

令和4年9月1日

1年A組、D組保護者様

瀬戸内市立牛窓中学校
校長 光信 謙吾

令和4年度学力・学習状況調査について

処暑の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校教育の推進のために格別のご高配を賜り、深く感謝いたします。

さて、1学期に実施しました岡山県学力・学習状況調査（国語、数学）及び瀬戸内市学力調査（社会、理科）の個人票を返却いたしますので、本紙と合わせてご確認ください。

なお、次の点についてご留意ください。

- 1 学力・学習状況調査は、あくまで前年度までの学習内容を4月の時点で調査したものであること
- 2 様々な学力の一側面であること
- 3 通知票の評価・評定には無関係であること
- 4 この分析結果に基づいて今後の学習指導を進めてまいります。ご家庭でもご協力をお願いしたいということ

次に、各教科の全国との比較及び今後の取組を、簡単にお知らせします。

【学力調査】

国語	説明文や文学の他、生徒間の話し合いを題材にした出題もありました。漢字の読み書きは概ね良好でしたが、話し合いや書くことに課題がありました。国語で正確に理解し、適切に表現する力の育成に努めてまいります。
数学	計算は概ね良好でしたが、式や割合の意味を理解することや、グラフから必要な情報を読み取ることに課題がありました。この点を踏まえて、既習内容をスパイラル式に学び直ししながら、中学校の学習を進めてまいります。
社会	政治、歴史、SDGsなどから出題があり、複数の資料を見比べる問題もありました。歴史は中学校でも学び直します。政治やグローバルな問題については、報道に関心を持たせ、社会との関わりの中で学んでまいります。
理科	記述式の問題に課題が見られました。既習内容や生活経験をもとに、根拠のある予想や仮説を導き、その根拠を科学的な言葉や概念を用いて説明する学習活動を意図的に設定してまいります。

【質問紙】

1年生の94%が「学校の宿題をしていた」、86%が「学校の規則を守っていた」、80%が「近所の人と会ったときは、あいさつをしていた」に「当てはまる」と答えていました。よい傾向ですので、さらなる質の向上に努めてまいります。

「今住んでいる地域の行事に参加していた」「学校の授業の復習をしていた」に「当てはまる」と答えた生徒は、県を約20%上回っていました。本校では3年計画で地域学習に取り組み、地域の課題を自分事として議論できる生徒の育成を目指しています。また、帰りの会の前には家庭学習の計画を立てるPST（Planing and Studying Time）を設け、自律的な学習者の育成に努めています。

一方で、授業でICT機器の使用頻度が低いと感じる生徒が多かったので、中学校ではICT機器を視覚支援や個別最適な学習の手段として積極的に活用してまいります。

